

第4回八街市道路安全対策推進協議会 議事録

開催日時	令和6年10月8日(火) 午後2時00分～午後3時10分
開催場所	総合保健福祉センター4階 団体研修室
参加者	<p>○構成員（6人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県印旛土木事務所調整課長</li> <li>・千葉県佐倉警察署交通課長（代理：交通課加藤氏）</li> <li>・八街市安全安心担当官</li> <li>・八街市建設部道路河川課長 …… 【協議会会長】</li> <li>・八街市教育委員会教育部学校教育課長</li> </ul> <p>○アドバイザー（2人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉工業大学 創造工学部 都市環境工学科 教授 赤羽 弘 和</li> <li>・国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 所長 藤井 和 久</li> </ul>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 市長あいさつ</li> <li>3. 会長あいさつ</li> <li>4. アドバイザーあいさつ</li> <li>5. 前回の概要および交通にかかる最近の動向</li> <li>6. 議題</li> <li>7. 閉会</li> </ol>
会 長	議題（1）「事故対策路線のその後の交通状況」について、事務局より説明をお願いします。
事 務 局	<p>資料1に基づき説明</p> <p>事故発生路線における緊急対策については、令和3年度末までに完了している。長期対策のローソン前交差点改良については、現在関係機関と協議をしており、完了時期は未定。依然として、ローソン前交差点などでは事故が発生、佐倉警察署に当該路線</p>

会 長	<p>の事故発生件数を確認したところ、第3回会議時報告後から本年8月までの人身事故発生件数は6件で、このうち、ローソン前交差点で4件の事故が発生したとの報告を受けた。</p>
印旛土木	<p>第3回会議の際、事故発生路線において関連性が高い、住野十字路の交差点改良について話があった。進捗状況を、印旛土木事務所の伊藤調整課長より説明をお願いします。</p>
会 長	<p>資料1の右側の図面の右上部分、県道の交差点改良と書いてある部分です。国道409号線と県道富里酒々井線の交差点、住野交差点です。過年度から千葉県において、交差点改良事業を行ってきたところでは、取得済みの用地を活用して、歩道整備、右折レーンの設置工事を進め、今年度4月に暫定供用したところでは、未買収の箇所を、地元の方に理解と協力を求め、完成形に向けて進めていく。今年度事業の効果を確認するため交通量調査を実施する予定。</p>
藤井所長 (アドバイザー)	<p>千葉国道事務所様にETC2.0のデータを用いた事故対策路線の交通状況などの分析をお願いし、支援をいただいたので報告する。参考資料1および参考資料3を提供いただいたので、ご覧ください。なお、分析結果については、アドバイザーの千葉国道事務所、藤井所長より説明をお願いします。</p> <p>参考資料①に基づき、対策の実施効果について説明します。</p> <p>参考資料①の1枚目は色々な交通安全対策を実施した路線における、速度が対策の前後でどのように変化をしたのかということ进行分析した結果です。対策前から何回かに分けて、データを分析したものです。対策を進めていき、時間が経つにつれてこの区間における速度低下の状況を示したものです。コンビニ前から朝陽小前交差点の対策後の時速30km超過割合は、対策前よりも約10%減少していると結果が出ている。</p> <p>次に2枚目は、車の交通量、車の流れがどうなったかというのを分析したものです。東行西行とも通過交通は対策直後は対策前と同程度であったが対策後4.0%増加していると結果が出ている。</p> <p>暫定型と話しがあった住野交差点については、通過交通抑制の効果の発現は確認することができなかった。</p> <p>参考資料③に基づき、交差点の周辺の速度をこれは渋滞の速度</p>

の改善について説明します。

参考資料③の1枚目は県道77号線の速度の変化を時間で対策前対策後と分析したものです。茶色、赤茶色が一番渋滞がひどい状況。東行について対策後、だいぶ渋滞の範囲も短くなったことが確認できる。西行については、この図だけ見ると、微増傾向と形になっておりますけれども、1マスの幅が10mということ、データ取得期間も限定的なので、それほど大きな変化はなかったのかと解釈できると考えている。

次に2枚目は、国道409号線の速度の変化を時間で対策前対策後と分析したものです。北行については、朝7時8時頃は若干改善しているが、それ以外の時間帯で微増傾向。だが、先ほどのとおりで、それほど大きな変化はなかったのかと解釈できると考えている。南行については、若干改善傾向がみられている。特に7時8時と17時18時に短くなっていることが確認することができた。

会 長

議題1につきまして、事務局、印旛土木様からの説明、千葉国道事務所様からの分析結果のお話をいただきました。委員、アドバイザーの皆さまから何かございましたら、ご発言ください。

赤羽教授  
(アドバイザー)

この交差点ほどの流入度も右折車線が増設されたのか。

印旛土木

右折車線はどの方向からも整備されました。まだ暫定型なので長さがとれていない部分もあり、渋滞が微増傾向にあった原因かなというような気がする。

赤羽教授  
(アドバイザー)

通過交通の中身がどの時間帯に多いのか、時間帯別に通過交通を分析すると、現在の渋滞状況とリンクしてるのかどうかかわると思う。暫定型で長さがとれていないのであれば、信号サイクル調の調整を試みをするとうい。信号サイクル調とは、ある方向に青を出して一回り回って、また同じ方向に青出す間の時間のことを言う。例えば、150秒だとすると1時間に24回転する。120秒にすると30回転。240台の右折車両を150秒のサイクルで処理しようとする、1回あたり右折レーンに10台溜めなければならぬ。120秒のサイクルでは、8台で済む。一般的に右折車線のオーバーフローが起こってなければ、サイクル調を長くした方が赤と黄色の時間の比率が小さくなるので、効率が良いのだが、右折車線のオーバーフローが発生する場合、むしろサイ

クル調を短くした方が1回に溜める台数が少なくなるので、短い右折車線でも効果が上がるということが知られている。これは国道357号線の若松交差点で、県警本部と千葉国道事務所が共同して実験され、その効果が実証されている。ですから、ここでも同じような試みをしていただくと、暫定的に右折車線を運用する期間も少しでも渋滞が減らせる可能性があるでしょうし、完成型ができ、交通量が多くなっても大丈夫だという運用ができそうな可能性がある。警察と相談して運用されたらいいと思う。朝にピークがあるようなので、状況は変えられるのかなと思う。

参考資料①について、緑の部分は速度規制が意味しているのと、計測誤差などもあり、あまり目くじら立てる必要はない。それよりも橙色40から50、紫色50以上が激減している。顕著に現れているということは、安全上、非常に効果があるのではと考えます。

藤井所長  
(アドバイザー) 今日住野交差点に停車して様子を見てきた。交通量調査をしている者がいたが、県でやられていたものか。

印旛土木 発注したばかりで、いつやろうかと話をしてたところなので違う。

藤井所長  
(アドバイザー) 県でやる交通量調査の対象は、このETCで取ったあたりでやるものか。

印旛土木 住野十字路のところでの状況を確認するのみ。

藤井所長  
(アドバイザー) ETC2.0のデータはサンプルが限られてますので、実際の交通量で比較もできるのかなと思って伺ってみた。

会 長 議題(2)「通学路緊急一斉点検後の対策状況」について、事務局より説明をお願いします。

事 務 局 資料2、3に基づき説明  
緊急一斉点検の危険箇所数150箇所。150箇所のうち、令和5年度末までに対策完了は141箇所94%。未完了の9箇所は、資料3のとおり。交差点改良および歩道整備の長期対策となるが、待避場所

の確保や路面標示などの仮対策は、いずれの箇所も完了。引き続き、関係機関と協議を進める。

会 長

これに関連して、千葉国道事務所様にETC2.0のデータを用いた事故対策路線の交通状況などの分析をお願いし、支援をいただいたので報告する。参考資料2を提供いただいたので、ご覧ください。なお、分析結果については、アドバイザーの千葉国道事務所、藤井所長より説明をお願いします。

藤井所長  
(アドバイザー)

参考資料②に基づきまして、各小学校周辺の交通状況の変化について説明します。令和3年度にお示しした資料に、最新の2024年5月6日から26日にとったデータを加えている。前回のものと本当は比較してお示しできればよかったです、示すことができず、申し訳ない。変化のあったところだけ旗挙げしてます。

朝陽小周辺では、色々と対策が行われてきたが、前回と大きな変化は確認することができなかった。住野神社付近について、児童への交通指導、集合場所の変更、あとは路肩の整備、歩行スペースの確保。看板設置した箇所で、急減速の頻度が減少したというようなデータが得られている。看板の設置が効いたのかと思う。

八街北小学校周辺では、水道課付近について、外側線の引き直し、グリーンベルト設置、路面表示をした箇所周辺で、平均速度が令和3年度と比べまして、40キロから50キロから30キロから40キロに低下したというようなデータが得られている。前原付近について、片側グリーンベルトであったり、入り口と出口に看板を設置をした箇所周辺で、平均速度が20キロから30キロから20キロ以下に低下したというようなデータが得られている。

八街東小学校周辺では、対策の方順次進めてきたが、前回と大きな変化は確認することができなかった。

実住小学校周辺では、追分交差点付近について、グリーンベルトであったり、外側線の設置、左側通行を指示をした箇所周辺で、平均速度が40キロから50キロから30キロから40キロに低下したというようなデータが得られている。ページの左下あたり、除草とグリーンベルト設置看板を設置した箇所周辺で、平均速度が40キロから50キロから30キロから40キロに低下したというようなデータが得られている。

交進小学校周辺北側では、対策の方順次進めてきたが、前回と大きな変化は確認することができなかった。南側では、一部外側線の設置であったり、グリーンベルトを設置した箇所周辺で、時速

20キロから30キロから40キロから50キロに上昇してしまったというデータが把握できている。その他のところは大きな変化は確認することができなかった。

川上小学校周辺では、川上小から千葉バーディークラブに抜ける通りにおいて、外側線、グリーンベルト、路面表示、看板の設置した箇所周辺で、対策をしたにもかかわらず、速度が上がってしまった。砂の消防機庫付近については、グリーンベルト、路面表示を対策し、速度低下を維持している。

笹引小学校周辺では、対策を順次進めてきたが、前回と大きな変化は確認することができなかった。

二州小学校周辺では、対策を順次進めてきたが、前回と大きな変化は確認することができなかった。

会 長

事務局からの説明と千葉国道事務所様からの分析結果のお話をいただきました。委員、アドバイザーの皆さまから何かございましたら、ご発言ください。

赤羽教授  
(アドバイザー)

参考資料②を見て、効果が上がったところはよしと思い、上がってないところは、分析して、次の対策につなげていくと。まさにPDCAサイクルです。非常に重要な活動だと思います。

藤井所長  
(アドバイザー)

特に効果が出てないところ、引き続きデータ分析とか、我々もフォローしていきたいとは考えておりますけれども、市の皆さんの方から、対策をしたけれども、効果が出てない理由ってというか、その地域の実情とか、何かお気づきの点とかあれば、教えていただければなと思います。

会 長

川上市小学校周辺の平均速度上昇傾向というところについて、千葉バーディークラブの脇の道ですが、今、バーディークラブさんの方で、道路の拡幅工事をしているので、その辺がもしかしたら影響してるのかなっていう気がします。

藤井所長  
(アドバイザー)

次回は、周辺の道路整備の状況とか、地域の実情とか、そういったものも事前に寄せ集めた上で資料をまとめさせていただいた方が、よりわかりやすいものができるかなと思いました。

その他このあたりで道路の整備とかが進められているなど、ありますか。

交進小学校周辺に、平均速度の上昇傾向箇所があるが、このあた

	りの状況を知っていたら教えていただきたい。
学教課長	交進小に勤めていたので、地域の状況を話しますと、県道と県道 の間の抜け道になっている通学路で歩いてきます。特に畑のと ころからこう生えている草であるとか、そういったものがあり見 にくくて、車がよく見えない、という話しが当時あったかなと記憶 しています。八街は、通過する車が非常に多くて、ここの通りも 佐倉市方面とか、南の方に向かうのに通過する車が多いのかなと 思います。
藤井所長 (アドバイザー)	ここは通学路ですか。
学教課長	通学路です。この南の坂江地区から、まさにこの道を歩いて、交 進小の目の前まで道が繋がっているので、ここを歩いてきます。
赤羽教授 (アドバイザー)	抜け道として使われるってということだとすると、この区間の状況 が変化したから速度が上昇したとは限らなくて、抜け道交通が何 らかの原因でより多く回ってくるようになったという可能性もあ ります。そうすると、もう少し広域的な検討が必要かもしれない。
藤井所長 (アドバイザー)	全体をパッケージとして対策が今できてないのではないかなと思 うので、小学校単位でやっていくと、結局あるところから追い出 しても玉突きとなって、ここが走りにくければ今度少しでも走り やすいところにと車が流れたりもするのだろう。少しでも範囲を パッケージ、面としてもう少し捉えた対策が必要になるかなと思 った。
会 長	議題（3）「通学路安全対策計画」についてです。 本市では、本協議会とは別に、通学路交通安全対策連絡会議を設 置しており、交通安全プログラムの策定及び危険箇所の把握、対 策の実施状況確認、対策効果の把握などを行っている。令和4年 度から第4期がスタートしており、所管課より、第4期について、 ご説明していただく。なお、今年度から第5期がスタートし ており、合同点検および対策の検討をしているところです。学校 教育課松岡参事より説明をお願いします。
学教課長	資料4に基づき説明 八街市交通通学路交通安全プログラムの取り組みについて報告し

ます。平成24年に発生した京都府亀岡市における小学校の死傷事故を受けて、関係機関と連携して通学路緊急合同点検を実施。この緊急合同点検を一過性とせず、地域を挙げて継続的に通学路の安全対策に取り組むため、平成28年より本プログラムをスタートさせた。第四期にあたる令和4年度から5年度までの2年間の成果報告と第五期にあたる令和6年度から7年度までの実施状況について報告する。

初めに第四期八街市通学路交通安全プログラムの取り組みについて、危険箇所は8小学校の合計で103カ所。道路管理者や警察など関係機関と対策協議を行い、方向性を決定。対策予定だった59カ所のうち令和6年3月末までに49カ所で対策が完了。教育委員会や学校では、交通安全指導や見守り活動の強化。道路管理者は看板の設置や外側線、グリーンベルトの設置。警察では信号機の設置や取り締まりの強化等を行った。対策未完了箇所の今後の見通しは、4カ所については令和6年度中に路面表示の補修やグリーンベルトの設置等を行う予定。残りの6カ所については、交差点改良や信号機の設置検討等の対策が必要となる長期対策。

続いて、第五期八街市通学路交通安全プログラムの取り組みについて、危険箇所は8小学校の合計で105カ所。7月下旬から8月上旬にかけて、関係機関とともに合同点検を実施。対策内容については対策会議を実施し、方向性を決定。今後も警察や道路管理者など関係機関と連絡を密にし、児童生徒が安全に通学できるよう、通学路の安全確保に努めていく。

会長 学校教育課からの説明がありました。委員、アドバイザーから、何かご助言コメントなど、お願いしたい。

赤羽教授  
(アドバイザー) 交通規制、信号機設置の対策が当面追いつかないところでは、交通安全教育などで対応していただく、それも一つの手段だと思う。全ての安全対策は、一夜にして成らず。私が体験した北小の安全教育は、相当な効果があって、例えば通過するドライバーと視線が合うことによって、ドライバーの方も反応している可能性があるなど、色々な手段を組み合わせで対応していくことが、非常に重要だと思う。

藤井所長  
(アドバイザー) リスクマネジメントの観点から、通学路を設定し直したりとか、集約したりとか、そういったことは検討しているか。

学教課長	家が市内に散らばっている。小学生は、集団登校をやっており、学期ごとに危険箇所等を把握して、相談しながら、対応している。例えば、この道よりもこっちの道を通りましょうとか、本来は右側通りますけど、左側の方が環境が整備されているので、左側を通って行きましょうとか。
赤羽教授 (アドバイザー)	参考資料②の中に、通学路の変更、左側通行始動、そちらだけ歩道が設置されているとか、あるいは外側線が引かれてるとかであろう。他の地域で、左側通行した方がいいのではと提案したら、右側通行が基本ですという反応もあったわけだが、こういうふうにした方が、より現実的だと思う。
会 長	議題（４）「今後の進め方」について、事務局より説明をお願いします。
事 務 局	資料５に基づき説明 事故発生路線の対策とともに、他の通学路についても対策を実施。八街市通学路交通安全プログラムにおいても同時進行。長期対策においては、時期が未定であることから、必要に応じて開催とし、市内通学路の対策状況の分析・検証をするとともに、更なる対策の必要性の有無などについて協議していきたいと考えている。また、国土交通省からの支援を受け、E T C 2 . 0 などにより収集されるビックデータを活用した対策の検討および効果の把握を市内の通学路や生活道路に展開し、P D C A サイクルを実施していきたいと考えている。引き続き指導および協力をお願いします。
会 長	事務局からの説明がありました。委員、アドバイザーから、何かご意見等、お願いしたい。
藤井所長 (アドバイザー)	今日の資料は、例えば市公式ホームページとか、一般の方々にもご覧いただけるようになるのか。
会 長	事務局どうでしょうか。
事 務 局	準備しようとしているところです。
藤井所長 (アドバイザー)	大変よろしいことと思います。市民の協力を得るために重要だと思います。

会 長	議題（４）「アドバイザーからの助言」についてはじめに、赤羽教授お願いします。
赤羽教授 (アドバイザー)	すでに大分話しをしたので、言うことはない。
会 長	続きまして、藤井所長お願いします。
藤井所長 (アドバイザー)	それぞれの場面で質問とコメントさせてもらったので、特段大丈夫です。
会 長	以上をもって、議案全てが終了した。今後も交通安全対策に理解と協力を賜りたい。改めてお願いします。 事務局に進行をお返しします。
事 務 局	ご審議ありがとうございました。 第４回八街市道路安全対策推進協議会を閉会します。  7. 閉会